

ぶどうの樹

2024.7

NO 34



2024年度 始動！
Your possibilities are endless

写真：新入生オリエンテーション交流会

INDEX

特 集：「地域に求められる大学として」

6 チャペル通信

7 8 大学情報

9 同窓会だより 保護者会だより

10 寄付事業のお礼と報告

11 2023（令和5）年度決算報告

石川昭仁学長インタビュー ～地域に求められる大学であり続けるために～



長崎外国語大学では、2024年4月1日より石川 昭仁 教授が新たに学長に就任しました。任期は、2024年4月1日から2025年3月31日までの1年間です。

石川学長はかつて2011年4月から2021年3月までの10年間本学の学長職にあり、今回は3年ぶりの再登板となります。本特集では、学校法人の理事長との兼務のかたちで再び大学運営のトップという重責を担うこととなった石川学長に、本学の現状と今後の目指すべき方向性についてのお考えを伺いました。

コロナ禍を通じて変わったもの、変わらないもの

2021年3月でいったん学長の職を退き、今回再度就任するまでの3年間は、教授として本学で教鞭をとるかたわら、ある意味で本学の運営状況を“外から観察する”立場にありました。コロナ禍により海外との人的往来が途絶し、学生の海外留学や留学生の受け入れの推進には相当の苦労がありました。新型コロナウイルス感染症が完全に鎮静化する以前の2021年夏から本格的な海外への留学派遣を再開できたのは、担当スタッフの努力の賜物であり、また本学が日頃から海外協定校との密接な関係を維持できていたからこそであると考えています。

コロナ禍が産み出した「オンラインの活用」という趨勢は、本学でも遠隔授業の実施やオンラインによる国際交流事業の推進に大いに寄与しましたが、一方で本学が標榜する「多言語グローバル人材の育成」のためには、現地に赴き、異なる文化に飛び込み、慣れない環境の中で他者と協働し、ともに課題解決を目指していくような経験が不可欠です。本学が実施した海外留学の学習効果を測定する調査においても、海外現地での滞在経験を通じてコミュニケーション力、コラボレーション力、問題解決能力が大きく伸長していることがデータに表れており、今後も、海外留学のほか、学内の外国人留学生との協働・共修の仕組みを含めた“High Impact Practice”を教育の核に据えていく立場は堅持したいと思います。

外国人留学生の受け入れに関しては、幸いにも昨年度から短期留学生を含む留学生受け入れはほぼコロナ前の状況まで回復し、これまで中断していた期間を取り戻すように、各地域との学生・教職員の人材交流が活発に行われています。つい先日(5月30日・31日)、アメリカのウォッシュינג턴大学から30名弱の研修団の来訪を受け入れ、本学学生との共同授業等を実施したところです。学内の外国人留学生数は250名程度に増加し、「キャンパスの3人に1人は留学生」という状況。教室にはもとより、食堂で、体育館で、テニスコートで、“普段着の国際交流”が展開される日々が戻ってきたことを本当に嬉しく思っています。

変わりゆく社会への対応を、本学の強みに変える

今回の学長任期は1年間ですが、この1年は本学の今後の在り方を考えるうえで極めて重要な年になると考えています。大学を取り巻く情勢の変化は、例えば私が初めて学長に就任した14年前とは比べるべくもないほどに加速度的に起こっている印象です。2019年に内閣府が策定した「AI戦略2019」では、2025年度までに全ての大学生・高専生に数理・データサイエンス・AI教育のリテラシーレベルを習得させることができます目標に掲げられています。本学はご存知の通り人文科学系の単科大学ではありますが、このような社会変容に在学生・卒業生が適切にキャッチアップし、以て社会に有意な人材であり続けるために、数理・データサイエンス等の基礎的能力を備えさせる教育を施していくしかなければなりません。については本年度秋学期より一部必修科目を含めた教育プログラムを稼働させ、2025年度早々に文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」への申請を行う予定です。

「データサイエンス」等と聞くと、外国语の学習とは“水と油”であり、ともすればお互いに相容れないものもあるという印象を持たれがちですが、決してそうではありません。データを分析・活用する手法を体得し、課題解決に結びつけるデータサイエンスの基本的な考え方には、海外の様々な地域に暮らす人々の言語・文化・歴史・社会に向けられる関心を体系的な知識の獲得へと結びつけ、当該地域が直面する課題、もしくは当該地域と日本を含む他地域との国際関係の中で現出する諸問題の核心に迫り、その解決手法を提示する創造的能力を養ううえで大きな助けとなるものと信じています。ある意味本学の現今カリキュラムを補完増強する取組であり、今後プログラムを受講する本学学生に対しては、数理・データサイエンス等の学修が「多言語グローバル人材となるための近道である」という気概を持ち、日々の学習に取り組んでもらいたいと思います。

“100年に一度の大変革”に如何に貢献していくか

一方で、大学業界よりも更に大きく変わりゆく、地域に目を向けてみましょう。長崎市は、九州新幹線西九州ルート開通を呼び水として長崎駅周辺整備事業をはじめとする街づくりの大改造「100年に一度の大変革」が進行しており、これに伴い、世界的ホテルチェーン「マリオット・インターナショナル」が運営する長崎マリオットホテルが開業する等、国際観光都市としての機能強化が図られています。同ホテルには既に本学卒業生複数名が採用され現在勤務しており、本学の「多言語グローバル人材」は、着実に地域の国際化を担う人材として定着しつつあります。

また少し遠方の事例にはなりますが、熊本県では世界最大手の半導体企業・TSMCが台湾から進出しました。周辺地域では現在、半導体関連の専門人材のほか、増加する海外ビジネス客に対応する観光人材の不足の問題や、外国人定住人口の増加に伴う教育の国際化の問題が顕在化しつつあると聞いています。このような産業や人材のボーダーレス化は今後も不可逆的に進行し、既往の観光人材ニーズに加えて、多文化共生社会をコーディネートする人材や定住外国人子女への日本語教育を担う人材へのニーズは上記以外の地域でも今後ますます高まっていくことでしょう。

本学は、このような地域社会の人材ニーズを確実に汲み上げ、地域産業界やコミュニティから求め続けられる人材を輩出し続けていくことこそ、最大の使命であると考えています。本学周辺の地域の変容を端的に表すものとして浮かび上がる「観光」、「多文化共生」、「日本語教育」といったエッセンスは本学の現在のカリキュラムにも盛り込まれていますが、今後はこれらの教育内容を更に尖鋭化・専門化させ、地域社会において当該分野のトップランナーとなり得るような人材に育て上げることを目指します。既に学内では、現今の中学部・学科構成の改組による新たな学科の設置に向けた具体的な検討を開始しています。更に国の制度変更に対応するため、既往の「日本語教員養成課程」が「登録日本語教員養成機関」及び「登録実践研修機関」としての認可を受けられるよう、現在申請に向けた準備を進めているところです。

以上、在任期間中に取り組みたいことは他にも山積していますが、何を差し置いても、本学が引き続き「地域に求められる大学」としての存在意義を發揮するための地歩を固めること、これこそが私が学長として課されたミッションであると考え、日々の職務に取り組んでいきたいと思います。卒業生諸氏はじめ、在学生保護者の皆様、地域企業の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

特集

2

地域のニーズに応える専門人材の育成について

本学には語学以外に専門的な知識を学ぶプログラムがあり、学生それぞれが自身の関心や目標に応じ専門プログラムを選択し、スキルを身につけています。

時代の変化に対応できる、キラリと光る専門人材を多く輩出するために、本学が取り組んでいる教育内容についてお伝えします。

長崎一円を中心にグループ企業を展開している九州教具グループ代表の船橋修一様に地域に求められる人材について、そして長崎外国語大学に求めることについてお伺いしました。

“前例に捉われない柔軟な発想を持った人材”が、今後の長崎をさらに盛り上げるために必要だと考えます。世の中がいかに変革しようと、人と対面し、価値を生み出す仕事は永続するからです。

弊社グループのホテルでは、お客様へ付加価値の高い接客を提供することを目的に、自動チェックイン機を全国に先駆けて導入しました。またコロナ禍には、感染拡大防止と食品ロス削減（SDGs の目標）の両立を目指し、大皿で提供していた朝食の料理を一品ずつの小分けパックに変更し客室にテイクアウトできるようにしました。このようなお客様のニーズに合わせた様々な安全安心の対策は、ホテルで働く社員やアルバイトの気づきが基となり実現したものです。何が起きるかわからない時代だからこそ、気づきを得て、提案できる人材が必要だと考えます。

長崎外国語大学では言語はもちろんのこと、日頃から国際交流が行われる環境で、多様な価値観を身につけた学生が多く在籍しています。世界的な広い視野で物事を捉え、自身で考え、発信できる人材を今後も多く輩出してくれることに期待しています。



九州教具グループ
船橋代表

～キャリア支援としての本学の取り組み～

問題発見力、課題解決力を養うことを目的に、以下の科目を開講しています

GAIDAIプロジェクト

- ・企業や地域と協力しながら、学生が主体となり企画・立案し、実現に向け活動する科目
- ・子ども食堂のサポートや、地域社会多言語化プロジェクトなど、今社会で何が求められているかを考え、解決に向けた行動に取り組みます

インターンシップ

- ・5日間以上の企業での就業体験を通じ、実社会で求められる力を養う科目
- ・企業が設けたテーマに応じ、自らで就業先の課題を発見し、解決策を考え提案する問題解決型インターンシップにも力を入れています

～長崎の観光業界を支える卒業生～

三保竜己さん（2023年3月卒業）

○仕事内容について

i+Land nagasakiに在籍し、ゲストリレーションと呼ばれるフロント業務に従事しております。弊社は地形が横に長い施設ですので、機械ではなく従業員がお客様へしっかりと説明を行います。チェックインのご案内だけでも10分はかかるくらい説明することが非常に多く大変ですが、皆様に楽しくエンターテインメントアイランドを過ごしていただくために大切にしております。

○長崎外国語大学で学び、仕事に役立っていること

昨年、新型コロナが5類に移行して以降、インバウンドのお客様が増えております。弊社にも台湾、中国、韓国、西洋など様々な国からお客様がいらっしゃいます。接客の際の共通語はなんと言っても「英語」です。外大で学んだことを活かし、英語を使ってチェックインを行っております。ご質問にも英語で答え、お客様が異国の地で困らないように常にサポートしております。在学中はドイツ語を第2外国語で勉強をしておりましたので、ドイツのお客様が来られた際は、簡単なドイツ語を使ってお客様とお話をできたことも印象に残っています。

○今後目指す姿

i+Land nagasakiでもっと技術を磨きたいです。日々成長しながらいつか海外勤務などへも挑戦したいと考えております。ホテルマンとしての仕事から、世界各国のリゾートホテルで勉強をしてみたいと強く感じるようになりました。この1年で、長崎コンシェルジュや弊社グループ内のトレーナー試験など色々なことに挑戦し、結果を出してきました。今後も「やってみないと分からない」をモットーに、様々なことに挑戦して参りたいと思います。

カルキビザヤさん（2021年3月卒業）

○仕事内容について

現在、長崎マリオットホテルの宿泊部で働いています。フロントでの受付やコールセンターでの電話対応、ベルドアでのお客様対応などホスピタリティ精神を持って日々業務に取り組んでいます。

○長崎外国語大学で学び、仕事に役立っていること

大学で学んだことの中で一番役に立っていることはコミュニケーション力です。なぜならば、日本の接客業で働くには、日本語はもちろん、コミュニケーションスキルも必要だからです。仕事では敬語を使いながら接客しているため、長崎外国語大学で学んだ語学と日本の文化であるおもてなしの心がとても役に立っています。大学での学びを活かし、充実した生活を過ごせているため、今の環境に満足しています。

○大学で印象に残っていることについて

日本に来た当初は日本語の知識が無かったため、勉強がとても大変でした。長崎外国語大学の先生方は私のような外国人留学生にも親身になって日本語や日本の文化について教えてくださいました。今の生活があるのも先生方のおかげです。感謝しています。

特集

3

プロジェクト型学習でソフトスキルを身につける —「Gaidaiプロジェクト」のさまざまな挑戦—

「Gaidaiプロジェクト」は一般にPBL (Project Based Learning : 課題解決型学習) と呼ばれる形態の科目です。日本では2010年代から、大学教育を社会へ架橋するという目的のもと、この授業形態が盛んに導入されるようになりました。本学では近年特に、この科目によるソフトスキルの涵養を重視しており、学生たちは地域社会や周辺環境にあるさまざまな課題の解決に取り組みながら、協調性、コミュニケーション、スケジュール管理、働きかけの重要性を学んでいます。

大学ホームページの関連コンテンツを更新しました。ぜひご覧ください。



Gaidaiプロジェクト



- ◆ Gaidaiプロジェクトにおける課題の解決に貢献します。
- ◆ 自由設計で問題意識、実行、振り返りで、課題解決を実現します。
- ◆ 社会人との連携(国際連携会員団体)や会員(経済界・マサード)と共に学びます。

Gaidaiプロジェクトの特徴

2011年にスタートして以来、主体性と社会人基礎力（前にも述べた通り、「チームで働く力」）の育成を目指しています。

学生が各自専門知識を駆使して結成されたチームで、地域社会・両山環境にある課題の解決を目指します。

01 学生の主体性を重視

02 社会的意義のある活動

新規プロジェクト「世界のスポーツに触れよう！」

4月から学生発案のプロジェクトが始動しました。「スポーツに国境はない」をスローガンに、本学学生だけでなく、近隣大学の学生も巻き込んで、異文化間能力の育成や長崎の多文化共生推進に貢献しようという活動です。緒についたばかりではありますが、秋に「アルティメット」の大会を開催するべく、具体的な計画を策定中です。(アルティメットとはフリスビーを使ったラクビー風の競技で、ラグビーほど攻撃性が高くなないので、交流には適している、とのこと。)

他のすべてのプロジェクトが教員の発案であるなか、この「世界のスポーツに触れよう！」はおよそ10年ぶりの学生発案となります。発案者の学生は昨年秋から冬にかけて、度重なる「ダメ出し」にもめげずに何度も企画書を書き直し、ついに始動に漕ぎつけました。

異なる文化的背景を持つ他者に心を開き、自身や社会の価値観を柔軟に更新していく知性は、これから時代を生きるうえで欠かせません。その涵養の一助となろうという意欲的な企画が、学生によって立ち上げられたのは素晴らしいことです。後生畏るべし。

「子ども食堂もぐら」サポートプロジェクト

「子ども食堂もぐら」は、日本ナザレン教団 長崎教会で毎月第2土曜日に開催されている食堂です。月に一度礼拝堂が食堂へと変身し、そこに来られるみなさんは、子供から大人までと幅広い世代の方々です。そして、食堂は、明るくて穏やかで人を包みこんでくれるような雰囲気が印象的でもあります。「子ども食堂もぐら」を知るきっかけとなったのは、本学と日本ナザレン教団 長崎教会との繋がりに基づいた様々な方からの情報によるものでした。多くの方々のご協力のおかげで、本プロジェクトは2022年秋学期に誕生しました。

本プロジェクトの活動目的は、「子ども食堂もぐら」がコンセプトとして大切になさっている「居場所づくり」をサポートすることです。食堂の主催者である門田純牧師にお話を伺った際、居場所には、食事をする場所だけに留まらず、人と人が交流できる場所や些細な事でも相談できる場所など色々な側面が含まれている様子でした。そのような「居場所づくり」のサポートを地域の方々と連携し、協力して行うこととしています。

本プロジェクトの活動内容としては、主に2つあります。1つ目は、「子ども食堂もぐら」の周知活動です。多くの方々に知っていただくために、ポスターの作成と学内外への掲示、地区の民生児童委員への周知活動を行っています。過去のポスターとして、子ども食堂に関する説明のものや「子ども食堂もぐら」の紹介のものなど、複数の目的に合わせたポスターを日本語版と英語版の2言語で制作しました。2つ目は、子ども食堂のイベント企画です。食堂の時間内で実施可能なクイズやゲーム、季節を取り入れたミニイベントを準備し、実施しています。例えば、クリスマスの時期には、各国のクリスマスの紹介として、主に

ドイツ、フランス、中国、アメリカでのクリスマスの過ごし方の紹介やクリスマスにちなんだ飾り物を子どもたちと一緒に制作するといったイベントを行いました。写真にある「子ども食堂もぐら」の旗も子どもたちと一緒に制作したものになります。子ども食堂の開催日にはこの旗を教会の駐車場に設置していました

先述したように「居場所づくり」をサポートすることが本プロジェクトの活動目的ですが、この目的に終わりはないと思われます。時代に応じて状況は変化していくからです。そのため、現状に寄り添う活動を考えられる柔軟さが大切だと思います。

本プロジェクトでの活動を通して、チームにおける共同作業や地域の方々とのコミュニケーションを取りながら状況に合わせた柔軟な思考力を養うことも目標の一つと考えます。

そのうえで、今後も周知活動とイベントの企画という2つの主軸となる活動の充実を図りながら、地域の方々との連携をさらに深めて活動を続けてまいります。



クリスマス紹介の様子



子ども食堂ポスター



子ども食堂の旗

フェアトレードでSDGsを推進しよう！！プロジェクト活動紹介

2021年度の秋学期からこの科目を開始しました。メンバーは10人前後で毎学期入れ替わってゆきますが、活動の内容を継承・発展させながら継続し、現在は学生8人で活動しています。

活動の目標・理念は、大学内や長崎市、時津町、長与町など、私たちが住んでいる地域の中でフェアトレード普及の取り組みを行うことによって、SDGsの理念である「誰ひとり取り残さない」持続可能な社会の実現に貢献することです。

具体的な活動内容としては以下の通りです。

①学内におけるフェアトレードの普及活動

これまでにフェアトレードの材料を使ったお菓子の試食会の実施や、他のプロジェクトとの共催イベントにおけるSDGs関連クイズなどを実施しました。

②近隣の小学校への出前授業

2022年と2023年、時津東小学校においてSDGsとフェアトレードに関する出前授業（写真は2022年の実施時のもの）を実施しました。今年度は横尾小学校において実施の予定です。

③SNSを利用したフェアトレード・SDGsの普及

インスタグラム (FAIRTRADE17_NUFS) の開設により、フェアトレードとSDGsの普及・推進活動を実施しています。

④今後の活動予定

今学期（2024年度春学期）の活動計画として、フェアトレードやSDGsに関連する映画の上映会を準備中です。また、学外のフェアトレード推進団体との連携活動も模索中です。



御言葉の約束

いのうえ かおる
井上 薫 (スマールストーン・ミニストリー)

2022年7月13日、12月7日の2回、本学のチャペルアワー講師として、スマールストーン・ミニストリーの井上 薫 牧師をお招きし、メッセージをいただきました。「スマールストーン」(小さな石)の名前は、元ヤクザの伝道集団「ミッショナリーバラバ」の働きの中で、「あなたはただの小さな石です。その石は大きくなることは出来ないが、でも使うのは私です」と井上先生が神様に示されたことに由来するそうです(『スマールストーン オフィシャルページ』より)。今回は井上先生に御寄稿いただきました。(編集部)

御言葉との出会い



1989年7月30日、聖書をプレゼントされた。わたしにとっては縁のないものです。頂いた聖書をその夜に読みました。一つの聖書の言葉が目に留まりました。

「もしもあなたの右の手が罪を犯させるなら、それを切って捨てなさい。五体の一部を失っても、全身が地獄に落ち込まない方があなたにとって益である。」(マタイによる福音書5章30節)

わたしは自分の手を見つめました。盗んだり暴力を振るったり、麻薬を打っている汚い手。この汚い手を切ってしまいたい。涙が出てきました。知らず知らずのうちに小さい頃からの罪が示されて悔い改めへと導かれました。なぜ涙が出るのか分からぬ。見えない神に向かって助けてくださいと叫んでいました。実はわたしは麻薬におぼれていて生きることが出来なく死ぬことばかり考えていたのです。そのような状況の中に御言葉が開かれたのです。

御言葉の導き

1990年4月3日。クリスチャンの証の本を読んでいました。そこには

「涙をもって種まく者は、喜びの声をもって刈り取る。種を携え、涙を流して出て行く者は、束を携え、喜びの声をあげて帰って来るであろう。」(詩篇126編5-6節)

という御言葉がありました。わたしは意味が解かりません。でもその時に、もし自分がクリスチャンになる事が出来たなら、この御言葉をもって歩ませてくださいと涙を流しながらお祈りしました。

その二日後、組の大事な規約を決めていました。最初に書かれていたことは「一つ。親分に絶対従う」。その他にも色々書かれていました。わたしは、一番最初の「親分に絶対従う」に「違う!」と思いました。ヤクザの世界では親分を守らなくてはいけない。でもわたしの親分イエス・キリストは子分の為に十字架で命を捨てて下さった。罪だらけのわたしの為に命を捨ててくださった。

やり直しが出来るのなら、イエス様に命を預けたいと思い、親分と話をしました。親分の許可を頂き1990年4月5日、ヤクザをやめる事が出来ました。

御言葉の恵み

妻との結婚をお祈りしていました。色々の福音書から同じ御言葉を頂きました。マルコによる福音書6章7節の、弟子たちをふたりずつお遣わしになったイエス様にならって……。

今は妻と二人で主の御用の為に遣わされています。これからも御言葉に従い歩んでいきたいと願っています。わたしの親分はイエス様です。

旅程管理研修について

本学院は、学校法人では全国初の観光庁長官登録研修機関（第23号）として、2007年度より添乗員やツアーコンダクターと呼ばれる旅程管理主任者の資格を取得するための研修を開講しています。

学生のみならず、一般の方の受講も可能です。今年度の研修詳細は、本学ホームページよりご確認ください。

旅程管理研修の受講者・修了者報告（2007年度～2023年度）

	総合	総合 (国内免除)	国内	合計
受講者数	519	19	238	776
修了テスト受験者	515	19	238	772
修了者数	450	16	223	689

お問合せ先

学校法人長崎学院 旅程管理研修機関事務局
TEL : (095) 840-2006
E-MAIL : ryotei@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

ご案内



バレーボール部の活動取材～歴代の先輩たちが築いた多文化共生サークルを引き継ぐ～

数多くの課外活動団体がある中でも、留学生が多く所属し、国際色豊かなバレーボール部。その魅力を探るために、インタビューを行いました。

協力者

4年 増山 日菜さん 4年 津波 真衣さん 4年 岩崎 和香菜さん

Q.1 活動内容を教えてください。

集まつたら人数を数えて、男女の割合が均等になるようにランダムでチームを作り、2コートに分かれて、試合を行っています。

Q.2 バレーボール部に所属している留学生の割合を教えてください。

半数以上が留学生で占めており、留学しているほとんどの国籍の学生が所属しています。

Q.3 留学生が多い理由はありますか。

他のスポーツと違い、ルールがシンプルでゲームに参加しやすいものもありますが、それ以上に、皆で楽しくワイワイと活動することをモットーにしているので、国籍問わずに溶け込みやすいのが一番かなと思います。

Q.4 留学生とは、言葉の壁がありますが、どのように乗り越えていますか。

コミュニケーション方法を教えて下さい。

英語が喋れない場合は、単語を一つ一つ繋げたり、ボディーランゲージを使い、勢いで何とか伝えようと努力しています。留学生も、日本語を話そうと頑張ってくれます。翻訳機に頼らずコミュニケーションをとるので、バレーボール部に所属するだけで、自然と語学力が身につきます。



Q.5 留学生とは、バレーボール部としての活動以外でも、交流はありますか。

バレーボール部の活動を通して仲良くなり、休みの日に遊びに行く人はたくさんいます。



Q.6 バレーボール部は雰囲気が非常にいいですが、どのように作り上げていったのですか。

バレーボール経験者も多く所属していますが、未経験者に対して非常に優しいです。経験者が多くても、未経験者の肩身が狭くならないよう、先輩たちが努力して、代々受け継いできたからだと思います。学年が上がっていくたびに、先輩たちへのありがたみが身に染みると同時に、4年生になった今、頑張らないといけないと、責任感が増しました。

Q.7 バレーボール部の今後の目標はありますか。

楽しくできたらいいです。外大の中で、一番行きやすいサークルとして認知され、留学生、先輩、後輩が関わり合う場として相応しい場所になればいいなと思います。

保護者会PRESENTS 宮下純一氏（北京五輪競泳メダリスト／スポーツキャスター）講演会開催

2024年1月17日（水）に、北京オリンピック競泳男子400メートルメドレーリレー銅メダリストで、現在はスポーツキャスターとして活躍中の宮下純一氏を講師にお迎えし、講演会を開催しました。

この講演会は、学生の保護者等を会員とする長崎外国語大学保護者会が「学生の学修モチベーションの一層の向上に資するようなイベントを実施したい」との意向で企画、同会主催で開催したものです。



講演は『グローバルに活躍する人になるために』と題し、宮下氏のこれまでの経験を基に人との出会いの大切さや明確な夢を持ち諦めないこと、挑戦する気持ちを持ち続けることの大切さについてお話しいただきました。

ヨーロッパに伝わる「チャンスの神様には前髪しかない！（チャンスはすぐに捉えなければ、後から捉えることはできない。）」という諺を引用し「チャンス（機会）は来るものではなく掴むもの。準備（チャレンジ）をしてこそ掴めるものなのでたくさんチャレンジしてください！」と、宮下氏より『3つのC』として「Challenge（チャレンジ）・Change（変化）・Chance（好機・機会）」の言葉が贈られ講演会は終了しました。



宮下氏と同郷の鹿児島県出身という学生は、講演会終了後に宮下氏よりメダルをかけてもらい「やっぱり重い。色々な意味で重いです。」とメダルに込められた宮下氏や周りの方々の思いを感じていました。



この講演会との出会いが学生の皆さん次のチャレンジに繋がりますように願っています。

新任教職員紹介

現代英語学科



4月から英語および教職課程の授業を担当している鶴田と申します。私は、高校でのキャリアが圧倒的に長く、大学生を教えることに慣れていないのですが、90分の授業時間の中で、学生同士が議論をしたり、評価をしたりといった、相互に学びあう活動を取り入れていきたいと考えています。本学の学生は、外国语を専攻している学生ですので、自らを表現することに積極的ですね。授業も楽しい雰囲気でやっていきたいです。よろしくお願ひします。

教授



4月に着任し、心理学関連の科目や教職課程を主に担当しております。専門は学校臨床心理学です。外大には2013年度から2015年度までの3年間お世話になっておりました。講義を通して心理学を学び、研究する楽しさを伝えるとともに、中学校・高等学校の教員を目指す方のサポートができるべると考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

准教授



4月から着任しました山田健太郎です。よろしくお願ひいたします。専門はアメリカ文学ですが、これまで大学で英語や異文化コミュニケーション等を教える中で関心は翻訳論や映画・アニメまで広がりつつあります。長崎外国语大学の皆さんが学生時代にはまって取り組むものを見つけるお手伝いができればと考えております。ぜひ気軽に研究室に質問に来てください。

特別任用教授



4月から長崎外国语大学に再度着任いたしました。さまざまな言語を学ぶ本学で再び英語教育に携わることができ、大変嬉しく思います。現在は主に英語科の授業と学修支援センターでの指導を担当しています。学習は楽なことばかりではないですが、その中で学生が少しでも樂しみながら学べる指導を心がけています。学生のみなさんが一人ひとり自分らしく輝けるようなサポートをしていければと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

特別任用講師



I am Jeff MacPherson from Australia and I have been teaching English for many years now. I have taught at universities and high schools in Japan, and I also taught at language centers and high schools in Australia. Naturally, I want to be a great teacher who helps you improve your English skills and learn more about foreign cultures, but it is also important that you learn ways to build your own motivation for study and independent learning. One key difference in teaching and learning in Australia is that many students take risks: they often ask questions, teach each other, and sometimes push each other to explain ideas or opinions. Also, I think that studying a foreign language should not just be something you do, but something that you want to do: something that you have a plan for, like a job or travel in the future. If you can find ways to become an active learner - an independent learner who asks questions and takes risks in class, and if you can find an interest, need, or passion linked to using English, it will be a more enjoyable and rewarding experience.

講師

国際コミュニケーション学科



4月に金沢より特任講師として赴任しました。言語への好奇心とコミュニケーションの楽しさに目覚め、理系から文系へと転向し、これまで様々な対照研究および教育活動を行ってきました。韓国語という言語を通じてその文化や社会と一緒に学ぶことはもちろんのこと、さらには対照研究の観点から、母語の日本語や日本文化を客観的に考え、より幅広いコミュニケーションができるように努めています。どうぞよろしくお願ひいたします。

特別任用講師



矢部正人と申します。4月から長崎外国语大学でネパール人学生を対象に日本語を教えております。私は北海道出身で、長崎に来たのは今回が初めてです。前職でも留学生に日本語を教えていましたが、その前は、日本人大学生の海外留学支援も担当しておりました。留学先でスポーツや楽器の演奏など特技を披露して、仲間を集めよう指導しておりました。皆さんは何が得意ですか？ 機会があれば海外でも才能を発揮して、充実した学生生活を送ってください。

特別任用講師



4月より特別任用助教として着任した孫平と申します。2022年8月に九州大学で博士課程を修了しました。推理小説、日中比較文学、翻訳を中心に研究を行っております。教育現場では、留学生の翻訳や日本語科目を担当しており、自分自身の留学経験を活かしながら、学生のニーズに対応するパラエティある授業に心がけています。また対話を重視しながら、授業を通して知的好奇心を満たしつつ、柔軟な思考力を伸ばせばと思っています。よろしくお願ひいたします。

特別任用助教



昨年の10月に特別任用講師として着任しました坂巻文彩と申します。「教育社会学」を専門にしております。機関、在学生、卒業生を対象にした調査を行い、「大学教育の職業上の有用性」について研究しております。教養教育の担当ですが、皆さんが社会的な視野を広げることができ、主体的に取り組めるような授業を目指しております。また、学修支援センターで、学修に関する不安、悩みの相談を担当しており、皆さんが充実した学修生活が送れるようサポートさせて頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

特別任用講師



昨年の9月に特別任用講師として着任いたしました水野延之と申します。ある国を知るためにには、その国の言葉を知ることが大切なのではないかと考えており、なるべく多くの国の言葉を学ぼうと、心がけてきました。どの国の言葉も、十分に身についているとは言えないのですが、言葉を学ぶ楽しさは理解しているつもりです。長崎外国语大学では日本語の授業を担当しております。受講者の皆様が、日本語を勉強して良かったと思えるような授業を行ってまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

特別任用講師



昨年度の9月から特別任用助教として着任いたしました成利楽です。中国出身です。私は日本語の先生であり、日本語の学習者でもあります。「教師が何をどのように教えたらしいか」だけでなく、「学習者は何をどう学んだらよいのか」を常に考えています。授業中は積極的に学習リソースや自らの日本語学習経験を共有し、学習者の自律学習を促す授業づくりを目指しています。どうぞよろしくお願ひいたします。

特別任用助教

事務職員



日々勉強、毎日を大切に頑張りたいと思います。

総務課



元川 理央

皆さまのお役に立てるよう精一杯がんばります。

総務課



元川 理央

日々熱意を持って業務に取り組みますので、よろしくお願ひいたします。

キャリア支援課



渚 松 和美

母校へ貢献できるよう精励してまいります。よろしくお願ひ申し上げます。

マルチメディアライブラリー事務室

● 同窓会だより ●

「ホームカミングデー2024」「外語祭OB／OG会」開催のご案内

同窓会では、今年も大学との共催で「ホームカミングデー 2024」ならびに「外語祭OB／OG会」を開催します。

今年は、懐かしの「外語祭」で学生気分にタイムスリップ！「ホームカミングデー 2024」と外語祭恒例の「外語祭OB／OG会」で皆さまのお越しをお待ちしております。

11月は懐かしの「外語祭」でお会いしましょう！



	ホームカミングデー 2024	外語祭OB／OG会
日 時	11月2日（土） 12:00～15:30（予定）	11月2（土）・3日（日/祝） 11:30～14:30（予定）
場 所	長崎外国語大学および長崎サンプリエール（懇親会）	長崎外国語大学
対 象	短大・大学すべての卒業生 ※ただし30名限定	短大・大学すべての卒業生
その他	<p>懇親会で懐かしい先生方や同窓生と昔話に花が咲いた後は、大学キャンパスで「外語祭」を楽しみましょう！</p> <p>ホームカミングデーへの参加には事前申込が必要です 会費…3,500円（懇親会費・模擬店利用含む） 申込締切…9/30（月）17時 申込先…長崎外国語大学 社会連携センター事務室 (電話) 095-840-2006 (メール) renkei@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (申込フォーム) Googleフォームからの申込 → </p> <p>*電話、メールでのお申込みの際は「ホームカミングデー申込」とお伝えください！</p>	<p>「OB／OG会」のブースでは 卒業生の皆さまの語らいの場として 皆さまのお越しをお待ちしております こちらは申込不要！ ご自由にお越しください</p> <p>詳細は「外語祭」スケジュールにてお知らせします 乞うご期待！</p>

詳細はホームページよりご確認ください。

長崎外国語大学ホームページトップ>卒業生の方>長崎外国語大学同窓会>催し物



● 保護者会だより ●

長崎外国語大学保護者会は2007(平成19)年6月23日の設立・発足以来17年目を迎えます。大学との情報交換を密にすると共に連携を図り保護者の立場から学生の教育及び福利厚生に関する事業を支援しております。

昨年度はサークル活動、語学検定試験合格者への支援や、外語祭に籠町龍踊保存会を招聘し、学生地域のみなさまに喜んでいただきました。

また、新型コロナウィルスの感染拡大を機に、人やモノとの接触を減らすための取り組みが推奨されたこと、教室照明のLED化を実施する計画が大学にあったことから、トイレの人感センサー並びにLED照明の設備費用一式を寄贈致しました。

保護者会会長としてこの場をお借りしまして、ご報告すると共にお礼の挨拶に代えさせていただきます。



10月に大学が実施する地区別保護者懇談会では留学・就職等に関する説明や、在学生による学生生活講話、教職員との相談の機会があり、私たち保護者会役員も参加し、保護者間の情報交換ができます。今後とも、保護者会活動へのご協力とご支援をよろしくお願ひいたします。



長崎外国語大学保護者会
神野 美由紀

教育研究の整備に関する寄付事業のお礼と報告

平成27年4月から開始いたしました「教育研究の整備に関する寄付事業」は令和6年3月末現在で1,044（1,014+30）件、51,079,150（48,227,150+2,852,000）円（内、令和5年10月1日～令和6年3月31日：30件、2,852,000円）のご寄付を賜り、ご支援をいただきました同窓会、保護者会、取引先、在学生保護者を始めとした多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

皆様の温かいご支援にお応えすべく、教育環境の整備のために鋭意努力をして参る所存でございますので、今後とも本事業の趣旨にご理解とご協力をお願い申し上げます。

寄付者ご芳名一覧 令和5年10月～令和6年3月ご寄付分 たくさんの温かいご支援ありがとうございました

個人の部

栗屋 曜	一宮 啓祥	岩田 耕作	植木 啓子	小川川 武	唐原 こずえ	川原 仁幸
岸川 善彦	小道 隆	佐藤 辰巳	田端 安範	長崎外国語大学保護者会	原野 浩二	原田 澄
平田 康子	二川 彩希絵	松尾 博則	宮崎 昭義	山下 美恵子	吉岡 学	

法人の部

DEITZ(株)	(有)ランカードコム
----------	------------

新長崎学研究に関する寄付事業のお礼と報告

平成28年4月から開始いたしました「新長崎学研究に関する寄付事業」は令和6年3月31日を以て終了いたしました。本寄付事業については令和6年3月末現在で360（343+17）件、14,079,240（13,834,240+245,000）円のご寄付を賜り、ご支援をいただきました同窓会、保護者会、取引先、在学生保護者を始めとした多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

本寄付事業は終了しましたが、新長崎学研究についてはグローバル人材の育成という本事業の趣旨の下、更に深めてまいる所存です。つきましては、引き続き本学の新長崎学研究にご理解とご協力をお願い申し上げます。

寄付者ご芳名一覧 令和5年10月～令和6年3月ご寄付分 たくさんの温かいご支援ありがとうございました

個人の部

栗屋 曜	岩田 耕作	江口 克彦	岸川 善彦	佐藤 辰巳	田端 安範	西川 典子
平下 美登里	吉岡 みどり					

法人の部

DEITZ(株)	(有)ランカードコム
----------	------------

寄付に係る税金（所得税・住民税）の優遇制度について

寄付をされると次の要領で税金が戻ってきます。詳しくは、法人事務局財務課までお問い合わせください。

個人 寄付金が2千円を超える場合は、超えた金額に40%を乗じた金額が税額控除されます。【(注):寄付金額は年間総所得金額の40%、税額控除は所得税額の25%がそれぞれ限度額となります。】

寄付をされた翌年1月1日現在、長崎県内の市町村の住民税課税対象となっている方は住民税についても寄付金控除が適用されます。

*上記以外の自治体の住民税課税対象となっている方は各自治体のホームページでご確認くださいか、直接自治体へお問い合わせください。

法人 受配者指定寄付金によって、日本私立学校振興・共済事業団を通じて寄付していただきますと、法人税法上、その寄付金を全額損金へ算入できます。【事前の手続きが必要です。ご説明をいたしますので寄付の際は大学にお申し出ください。】

ご寄付のお申し込みについて

お電話またはメールで、ご住所、お名前をお知らせください。法人事務局よりご説明および必要書類をお送りいたします。

お問い合わせ先

学校法人長崎学院 長崎外国語大学 法人事務局 財務課（担当：森脇・原野）
Tel 095-840-2003（法人財務課直通） Email keiri@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

学校法人 長崎学院 2023（令和5）年度決算報告

学校法人長崎学院は「長崎外大ビジョン2030」に沿って財務基盤の確立および財務体質の強化に努めています。大学の収入の源泉は「学生生徒等納付金」「補助金」「寄付金」「付随事業収入」「その他」の5つに大別されます。なかでも「学生生徒等納付金」が収入の柱となっており、2023年度は事業活動収入の61.5%を占めています。

【事業活動収支計算書 収入の部】

令和5年度の学生数は、1次入学者数（5月1日付）120名（前年比22名減、入学定員170名、入学定員充足率70.6%）、総在籍者数（5月1日付）659名（前年比41名減、収容定員740名、収容定員充足率89.1%）となり、入学定員は3年連続、収容定員は2年連続未充足となりました。

これを受け学生生徒等納付金は、正規学生分が減少（前年度比1,051万円減）しましたが、コロナ禍からの活動回復に伴う短期プログラム留学生が前年比143名の大幅増加となった結果、当該納付金としては前年度比3,632万円の増加（前年度比4.8%増）となりました。

補助金収入においては、経常費特別補助及び地方公共団体からの補助金の増加等があったものの、経常費一般補助が当該補助金交付率の低下等により前年比2,965万円減少した結果、経常費補助金全体としては前年度比2,139万円の減少（前年度

比9.3%減）となりました。

付随事業収入はコロナ禍からの活動回復に伴う短期プログラム留学生の受入増加により入寮者数が増加し、前年度比2,267万円の増加（前年度比13.0%増）となりました。

【事業活動収支計算書 支出の部】

人件費は定年退職等に伴う退職金の増加（前年度比5,566万円増）により、前年度比3,490万円の増加（前年比6.4%増）となりました。また、教育研究経費は前年度比5,685万円の増加（前年度比16.6%増）となり、管理経費は前年度比1,329万円の増加（前年度比5.93%増）となりました。教育研究経費及び管理経費の増加は、短期プログラム留学生の受入増加等に伴う奨学費の増加（前年度比4,234万円増）、施設修繕費の増加（前年度比819万円増）、コロナ禍からの活動回復に伴う出張旅費の増加（前年度比649万円増）等が主な要因です。

以上の結果、令和5年度の基本金組入前当年度収支差額は5,387万円となり、前年度比354万円の減収（前年度比6.2%減）となりました。なお基本金組入前当年度収支差額は、平成27年度以降、9年連続の収入超過となっています。

翌年度繰越支払資金は、上記決算の結果、前年度比1,874万円の増加となりました。

事業活動収支計算書

令和4年3月31日から令和5年3月31日まで

(単位:千円)

科 目		令和4年度	令和5年度	差 異
事業活動収入の部 教育活動収支	学 生 生 徒 等 納 付 金	755,213	791,535	36,322
	手 数 料	6,388	6,178	△ 210
	寄 付 金	466	1,005	539
	経 常 費 等 補 助 金	230,117	208,728	△ 21,389
	国 庫 補 助 金	228,781	206,721	△ 22,060
	地 方 公 共 団 体 補 助 金	1,336	2,007	671
	付 隨 事 業 収 入	175,085	202,748	27,663
	雑 収 入	15,720	64,053	48,333
	教 育 活 動 収 入 計	1,182,989	1,274,247	91,258
	人 件 費	546,625	581,526	34,901
事業活動支出の部 教育活動支出	教 育 研 究 経 費	343,166	400,019	56,853
	管 理 経 費	225,853	239,146	13,293
	徴 収 不 能 額 等	0	0	0
	教 育 活 動 支 出 計	1,115,644	1,220,691	105,047
教 育 活 動 収 支 差 額		67,345	53,556	△ 13,789

科 目		令和4年度	令和5年度	差 異
教育活動外収支の部動 収入の部動	受 取 利 息 ・ 配 当 金	2	2	0
	そ の 他 の 教 育 活 動 外 収 入	0	0	0
	教 育 活 動 外 収 入 計	2	2	0
	借 入 金 等 利 息	13,627	9,950	△ 3,677
	そ の 他 の 教 育 活 動 外 支 出	0	0	0
	教 育 活 動 外 支 出 計	13,627	9,950	△ 3,677
	教 育 活 動 外 収 支 差 額	△ 13,625	△ 9,948	3,677
	經 常 収 支 差 額	53,720	43,608	△ 10,112
	教 育 活 動 外 収 支 差 額	53,720	43,608	△ 10,112
	教 育 活 動 外 収 支 差 額	53,720	43,608	△ 10,112

科 目		令和4年度	令和5年度	差 異
特別収支の部動 収入の部動	資 産 売 却 差 額	0	131	131
	そ の 他 の 特 別 収 入	6,283	13,083	6,800
	特 別 収 入 計	6,283	13,214	6,931
	資 産 処 分 差 額	2,177	1,797	△ 380
	そ の 他 の 特 別 支 出	410	1,152	742
	特 別 支 出 計	2,587	2,949	362
	特 別 収 支 差 額	3,696	10,265	6,569
	予 備 費	—	—	—
	基 本 金 組 入 前 当 年 度 収 支 差 額	57,416	53,873	△ 3,543
	基 本 金 組 入 額 合 計	△ 111,672	△ 127,384	△ 15,712
当 年 度 収 支 差 額		△ 54,257	△ 73,510	△ 19,253
前 年 度 繰 越 収 支 差 額		△ 2,937,949	△ 2,992,206	△ 54,257
基 本 金 取 崩 額		0	0	0
翌 年 度 繰 越 収 支 差 額		△ 2,992,206	△ 3,065,716	△ 73,510

(参考)

事 業 活 動 収 入 計	1,189,274	1,287,464	98,190
事 業 活 動 支 出 計	1,131,859	1,233,590	101,731

貸借対照表

令和5年3月31日

(単位:千円)

資 産 の 部		純資産の部					
科 目	令和4年度	令和5年度	差 異	科 目	令和4年度	令和5年度	差 異
固定資産	5,271,755	5,181,782	△ 89,973	基本金	7,367,524	7,494,908	127,384
有形固定資産	5,154,914	5,068,602	△ 86,312	第1号基本金	7,288,524	7,415,908	127,384
土地	3,183,999	3,183,999	0	第4号基本金	79,000	79,000	0
建物	1,523,100	1,450,800	△ 72,300	繰越収支差額	△ 2,992,206	△ 3,065,716	△ 73,510
その他の有形固定資産	447,815	433,803	△ 14,012	翌年度繰越収支差額	△ 2,992,206	△ 3,065,716	△ 73,510
特定資産	100,000	100,000	0	純 資 産 の 部 合 計	4,375,318	4,429,192	53,874
その他の固定資産	16,841	13,180	△ 3,661	負債及び純資産の部合計	5,602,031	5,574,436	△ 27,595
流動資産	330,276	392,654	62,378				
現金預金	319,365	338,103	18,738				
その他の流動資産	10,911	54,551	43,640				
資 产 の 部 合 計	5,602,031	5,574,436	△ 27,595				
負 債 の 部							
科 目	令和4年度	令和5年度	差 異				
固定負債	797,998	680,429	△ 117,569				
長期借入金	553,774	449,030	△ 104,744				
その他の固定負債	244,224	231,399	△ 12,825				
流動負債	428,715	464,815	36,100				
短期借入金	137,469	144,308	6,839				
その他の流動負債	291,246	320,507	29,261				
負 債 の 部 合 計	1,226,713	1,145,244	△ 81,469				

*その他の計算書類は本学HPに公開しています。

本学院広報誌「ぶどうの樹」は、2024年度より年1回夏頃の発行となります。



長崎外国語大学『歴史・地域史教育資源シリーズ』として「漫画家清水嵐の仕事」と題した動画を公開しました。

清水嵐(1912~1974)は、長崎市出身の漫画家で、日本の妖怪として恐れられてきたかっぱを時にはコミカルに、時には妖艶に描いた『かっぱ天国』などの作品で知られています。なお、本年は清水嵐没後50年にあたります。ぜひともご視聴ください。



(『朝日新聞』朝刊、1954年5月23日掲載分原画、
長崎市清水嵐展示館蔵)



長崎外国語大学 2024年度 年間スケジュール

今年度、本学では以下のイベントを実施、予定しています。

春	4月2日	2024年度 春季入学式
	5月18日	スポーツ大会
	5月19日	長崎外国語大学保護者会定期総会
夏	7月20日	オープンキャンパス
	7月24日	留学許可書授与式
	8月3日・10日	オープンキャンパス
秋	8月6日～9月29日	夏季休暇(夏休み)
	9月26日	秋季入学式
	9月27日	秋季卒業式・卒業パーティー
冬	10月5日・12日	長崎外国語大学地区別保護者懇談会(長崎・福岡)
	11月2日・3日	第72回外語祭
	12月14日	英語ボキャブラリーコンテスト
	12月18日	全学クリスマス礼拝
	2月10日～3月31日	春季休暇(春休み)
	3月2日	保護者対象留学説明会
	3月19日	2024年度春季卒業式・卒業パーティー
	3月22日	春のオープンキャンパス

※既に実施済のものを含みます。予定は諸事情により変更されることがあります。